

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- キャビネットが落下・転倒してけがをするおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・指定の位置に、厚さ24×60以上の硬木の棧木を設置してください。
 - ・棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
 - ・棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18以上の合板を使用してください。（厚さ12の合板では吊下げ強度が足りません。）
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×65を指定の本数使用してください。
 - ・必ず棧木の中央又は厚さ18以上の合板に固定してください。

▲注意

- ウォールキャビネット以外は、壁面に吊下げて設置したり、上がり框に一部のせた形で設置しないでください。キャビネットの転倒・落下の原因となります。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してください。
- 組立ての際は、接合部及び溝部に必ず付属の接着剤を充てんし、1日以上養生してください。充てんされていないと接合部が外れて、キャビネットの落下の原因となります。
- 扉をキャビネットに取付ける際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

■取付け上のお願

- 壁面（躯体）に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、扉の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみ等の原因となります。
- 発熱燈付近には取付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

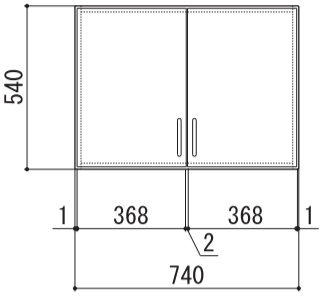
■部材・部品一覧表

部材・部品名（姿図）	キャビネット梱包															扉梱包		
	部 材							部 品								部 材		
	(日)側板	(月)天井・地板	(火)背板	(水)固定棚	(木)カウスター	(金)前台輪	(土)棚板 (W708)	棚ダボ	φ3.5×27 (黒) 連結ねじ	φ3.8×65 躯体取付けねじ	接着剤	M4×25 セット (把手・トラス小ねじ)	アーチ型把手	丁番座	丁番カップ	戸当りセット (戸当り・ナベタッピンねじ) 一種φ3.5×16	扉 / 左吊り元	扉 / 右吊り元
ウォールユニット	2	2	1	—	—	—	4	8	4	1	2	4	4	—	1	1		
ベースユニット	2	1	1	—	1	1	4	16	10	3	1	2	4	4	1	1	1	
トールユニット	2	2	1	1	—	1	8	36	13	5	1	2	6	6	—	1	1	

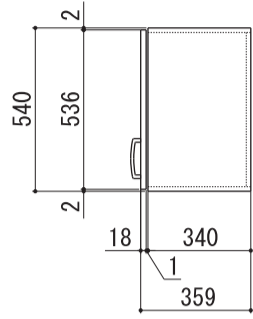
■ 寸法図

【ウォールユニット／740W】

● 正面図

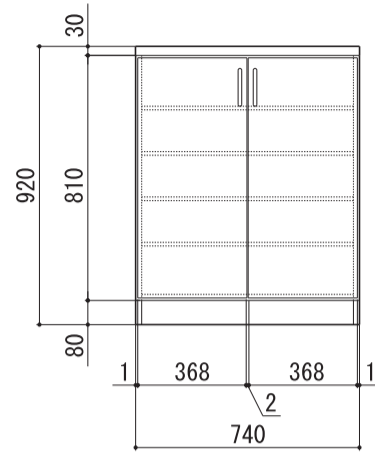


● 側面図

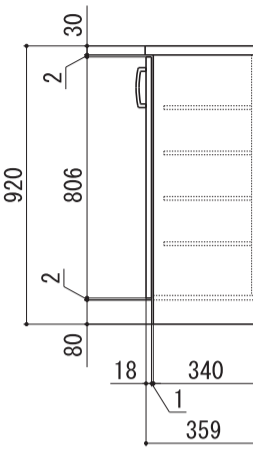


【ベースユニット／740B】

● 正面図



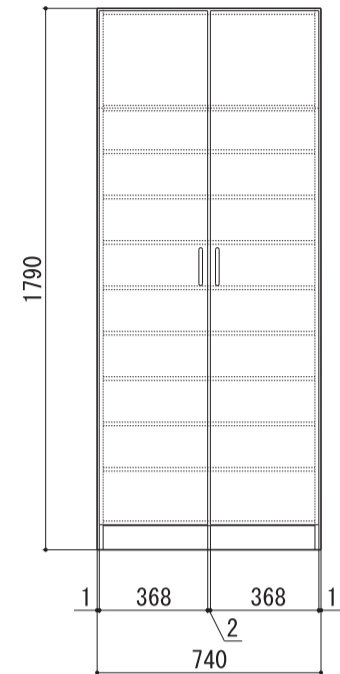
● 側面図



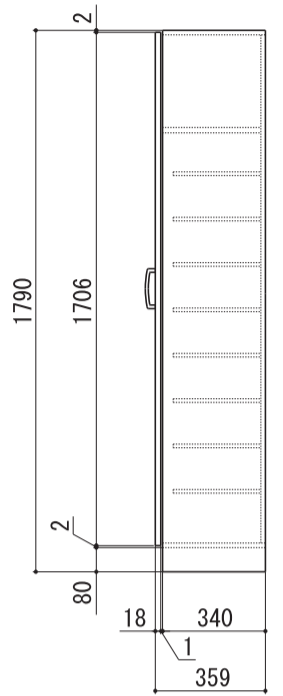
【トールユニット／740T】

● 正面図

※扉は左右兼用です。



● 側面図

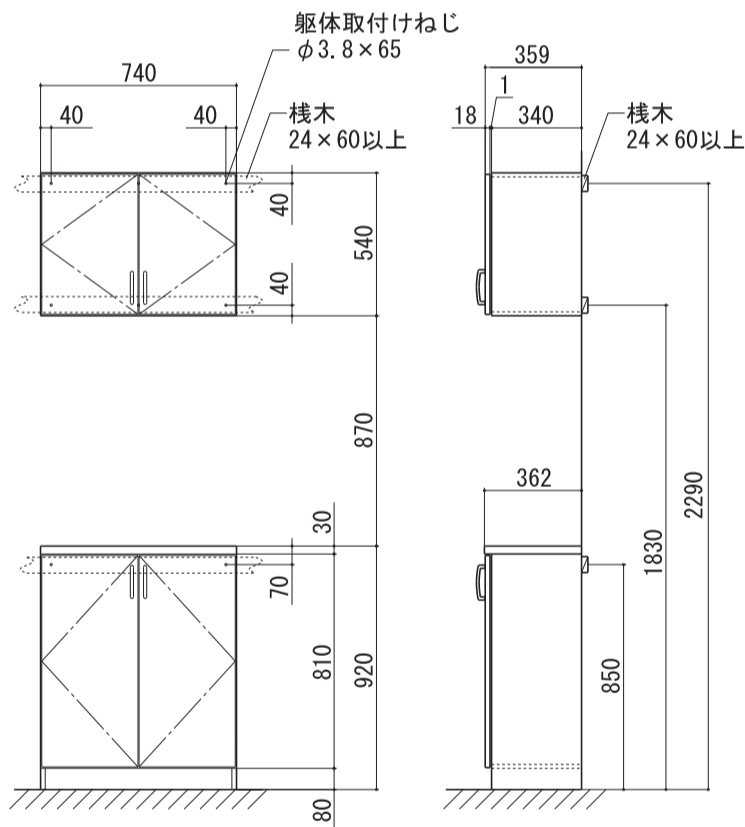


■ 据付け前の準備

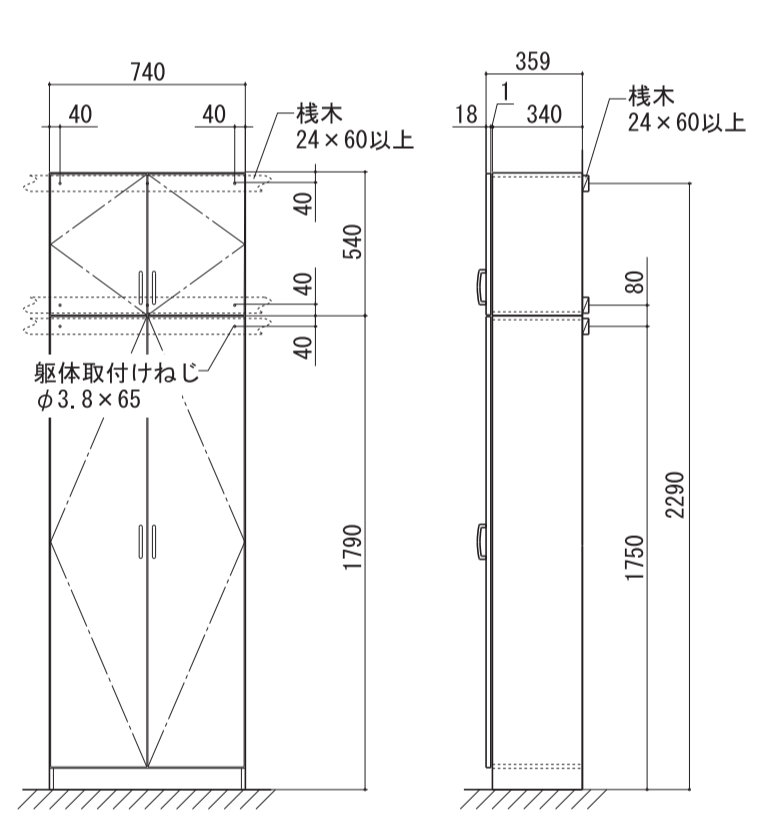
A 棧木の設置位置確認

- 据付け場所と上がり框の位置を確認し、所定の壁面（躯体）に棧木を設置します。（A部詳細図参照）

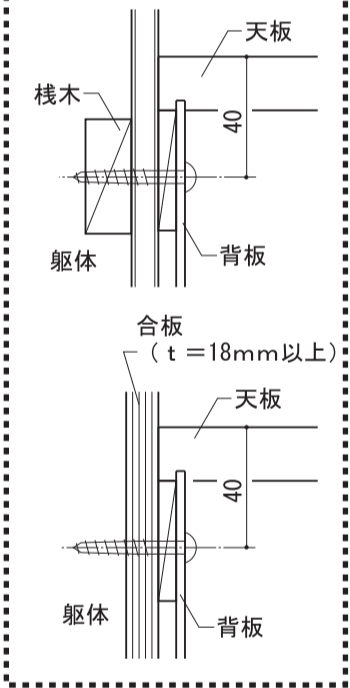
■ ウォール+ベースキャビネット



■ ウォール+トールキャビネット



■ A部詳細図

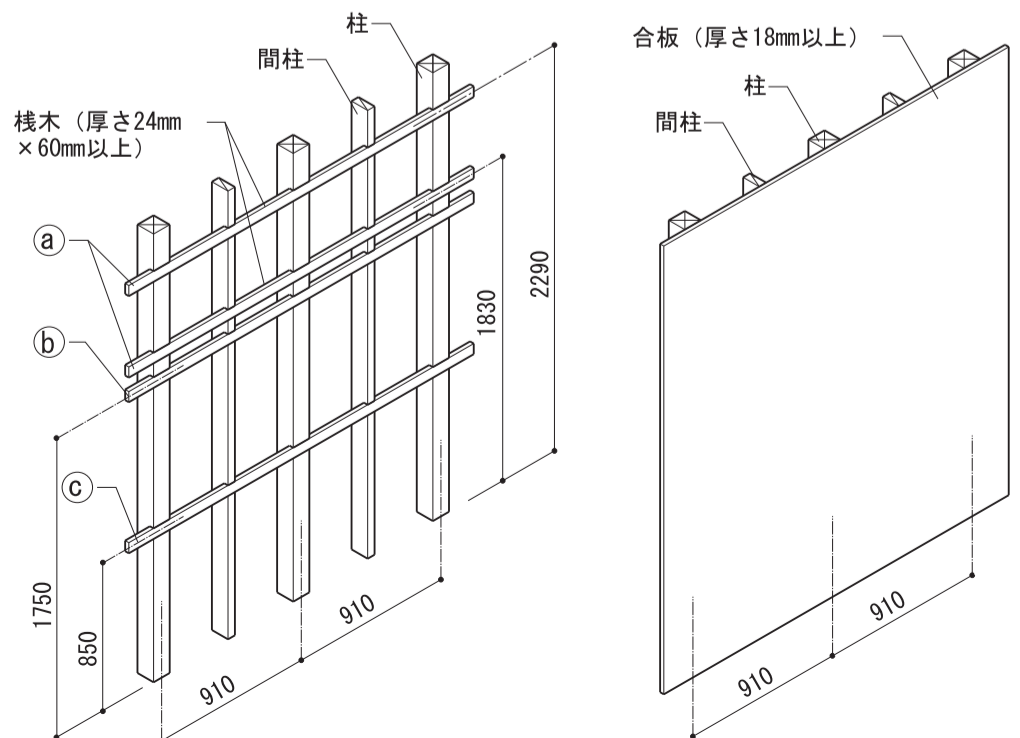


S 棧木の固定

▲ 警告

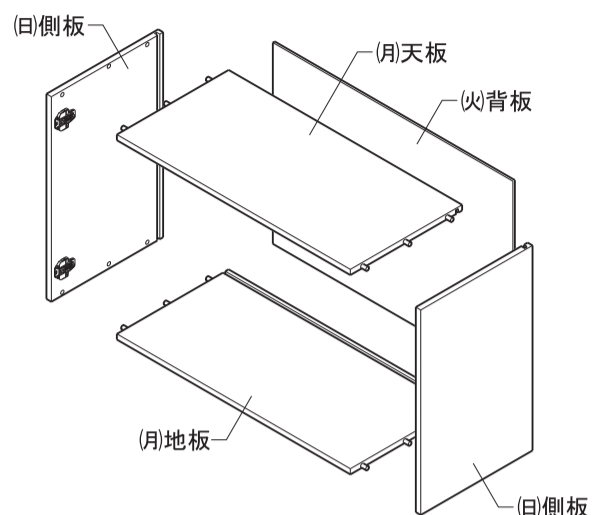
- 指定の位置に、厚さ24×60以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18以上の合板を使用してください。（厚さ12の合板では吊下げ強度が足りません。）

①	ウォールキャビネット取付け用
②	トールキャビネット取付け用
③	ベースキャビネット取付け用

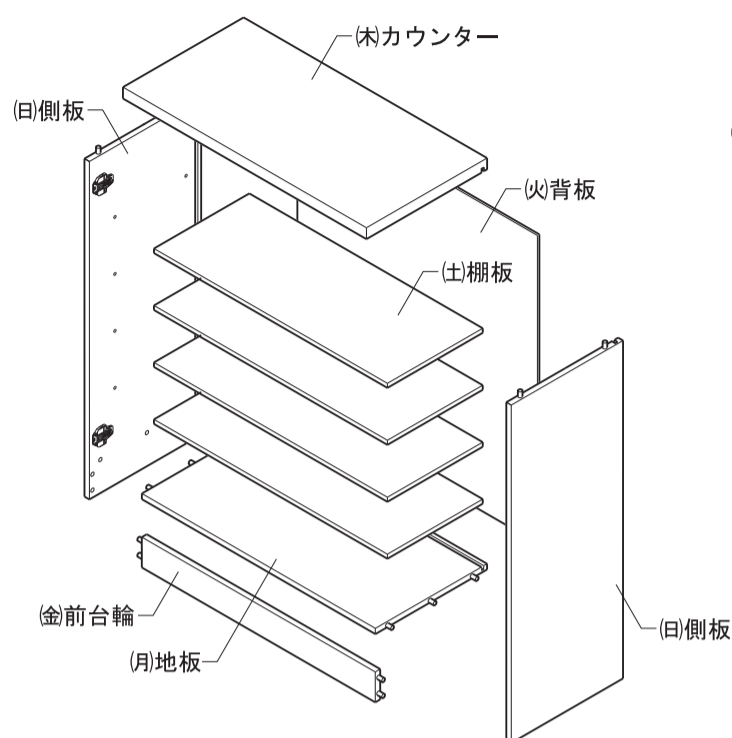


■各部名称図

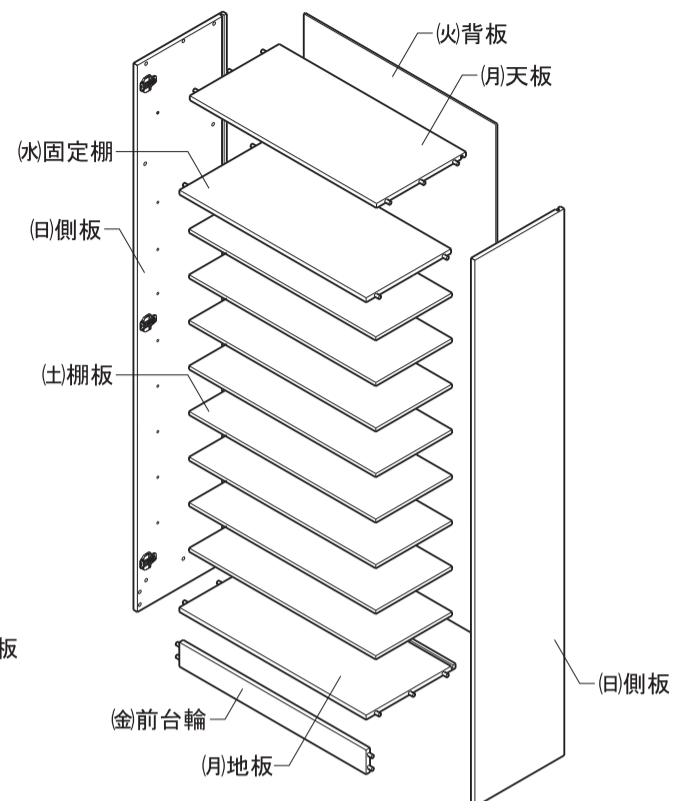
■ウォールユニット



■ベースユニット



■トールユニット



■組立て順序

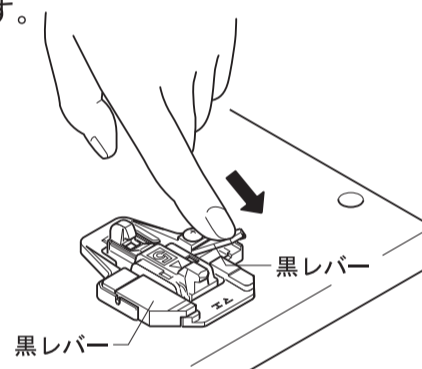
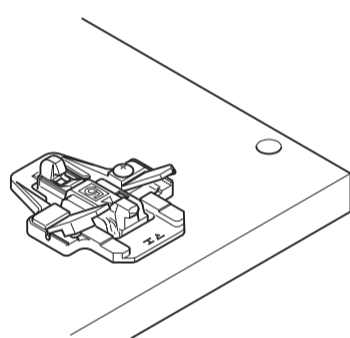
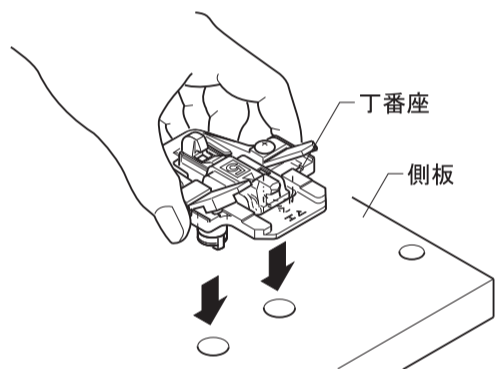
※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。

Aウォールキャビネット・ベースキャビネット・トールキャビネット共通

①側板に丁番座を取付けます。

①-a) 丁番座を側板の加工穴に差込みます。

①-b) 黒レバーをおろして丁番座を固定します。



Sウォールキャビネット

②片側の側板に天板・地板をはめ込みます。

▲注意

●接合部及び溝部には必ず付属の接着剤を充てんし、1日以上養生してください。キャビネットの強度が不足し、キャビネット部材の落下及び、中に入れている物の落下の原因となります。

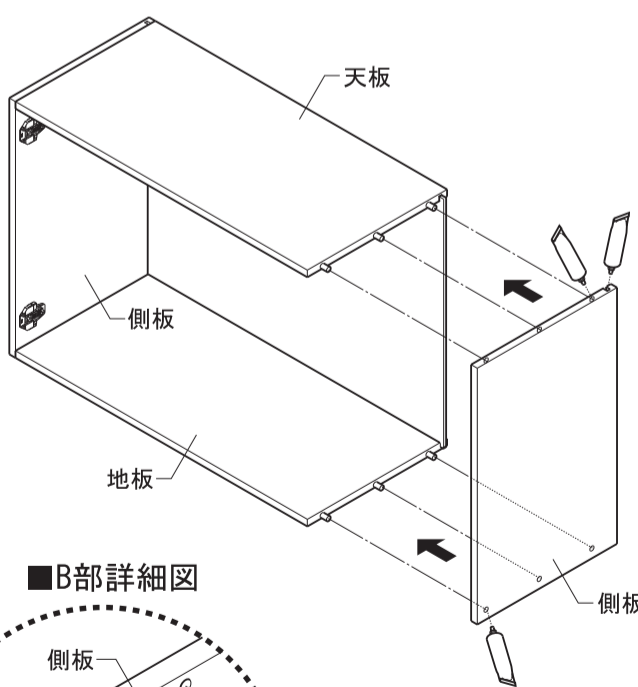
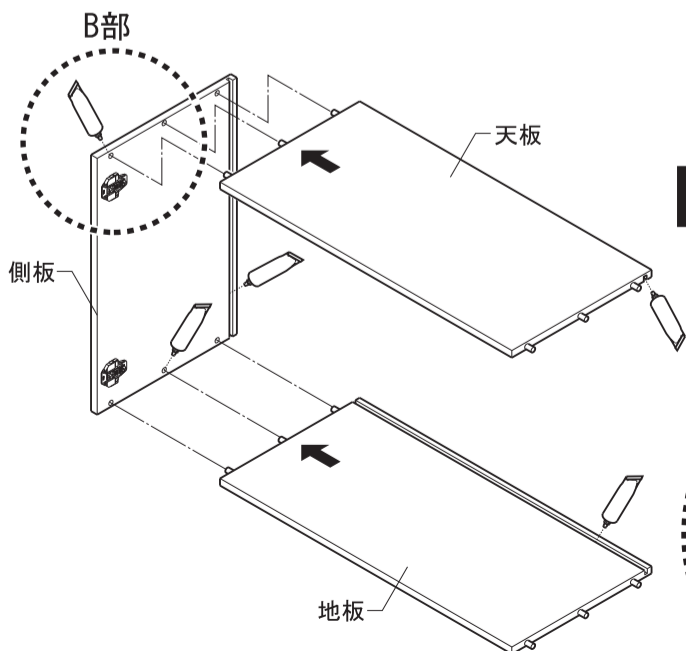
③側板及び天板・地板の溝部に接着剤を充てんし、背板を差込みます。

④もう一方の側板をはめ込みます。

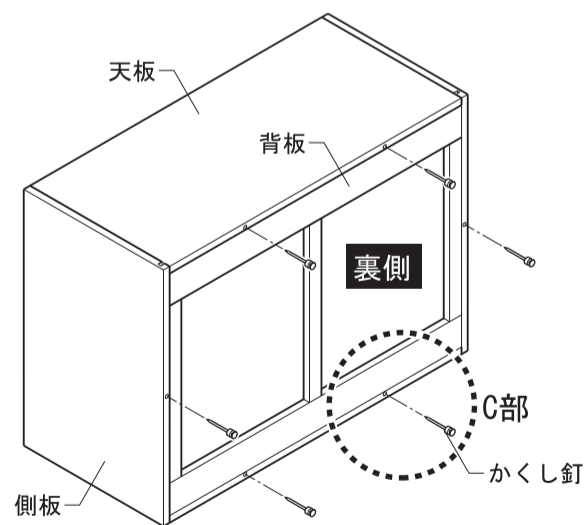
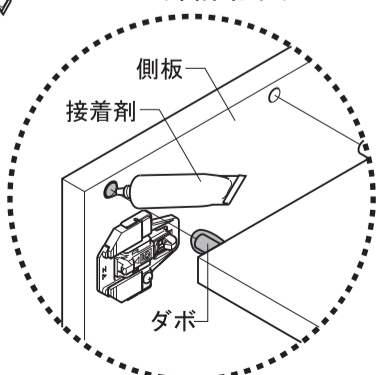
⑤キャビネットの垂直を確認します。

⑥背板側からかくし釘（現場手配）などで背板を固定し、接着剤が乾くまで1日以上養生します。

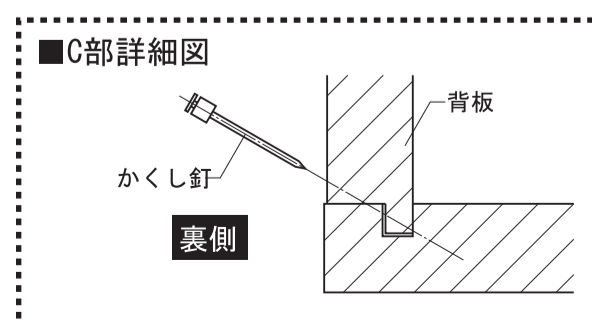
※かくし釘は、φ1.0mm程度のものを使用し、かくし釘を強くたたきすぎないでください。直径の太いものや、強くたたきすぎると、部材が割れるおそれがあります。



■B部詳細図



■C部詳細図



Dベースキャビネット

②片側の側板に、地板及び前台輪をはめ込みます。

③もう一方の側板をはめ込みます。

④側板及び地板の溝部に接着剤を充てんし、背板を差込みます。

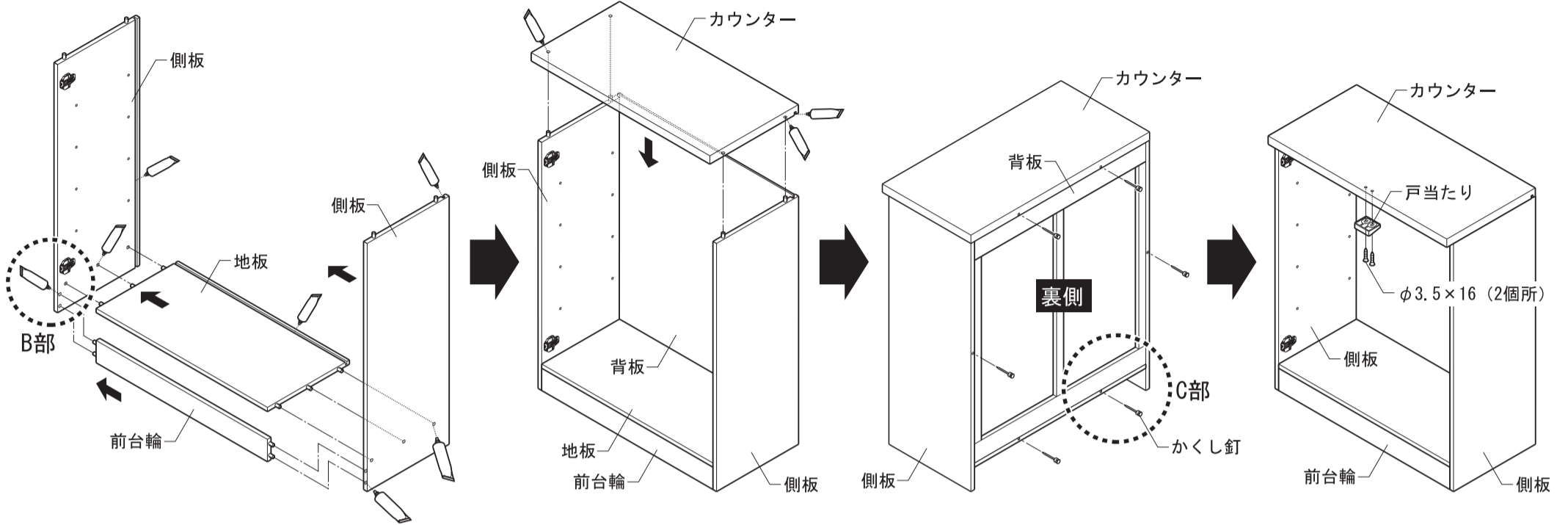
⑤カウンターをはめ込みます。

⑥キャビネットの垂直を確認します。

⑦背板側からかくし釘（現場手配）などで背板を固定し、接着剤が乾くまで1日以上養生します。

※かくし釘は、φ1.0mm程度のものを使用し、かくし釘を強くたたきすぎないでください。直径の太いものや、強くたたきすぎると、部材が割れるおそれがあります。

⑧戸当たりをカウンター中央部にねじ止めします。



Fトールキャビネット

②片側の側板に固定棚及び天板・地板をはめ込みます。

③前台輪を側板にはめ込みます。

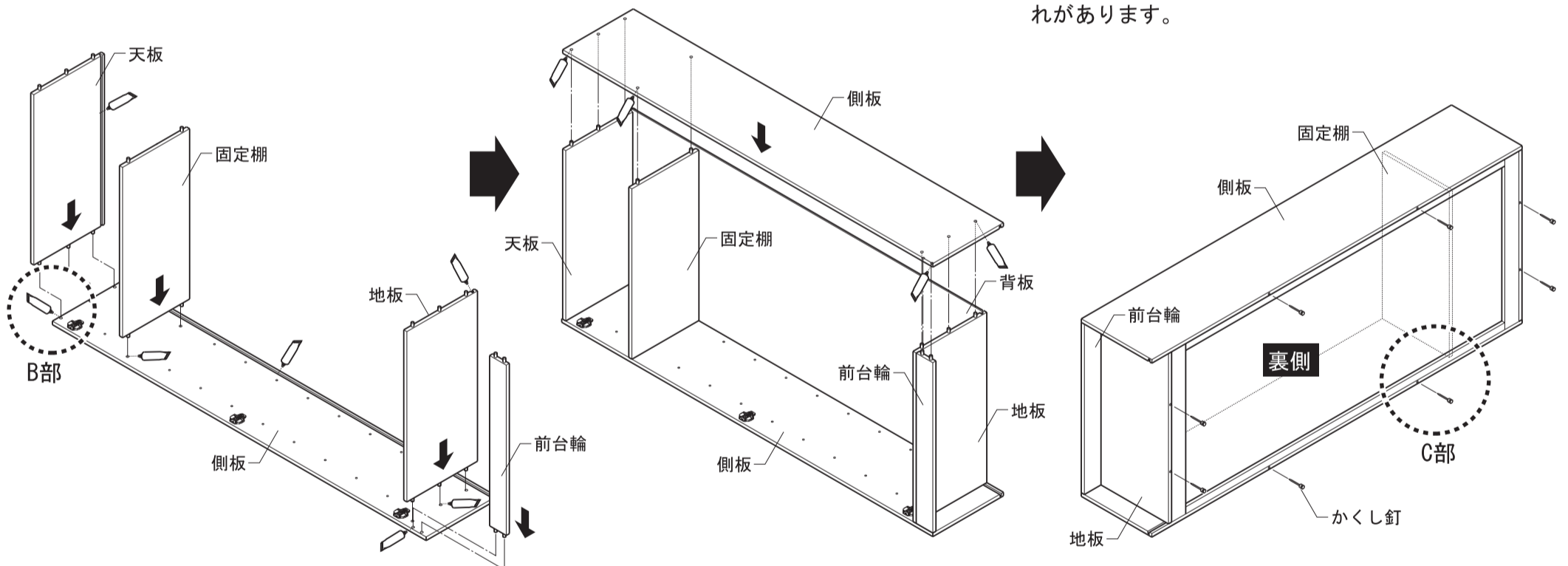
④側板及び天板・地板の溝部に接着剤を充てんし、背板を差込みます。

⑤もう一方の側板をはめ込みます。

⑥キャビネットの垂直を確認します。

⑦背板側からかくし釘（現場手配）などで背板を固定し、接着剤が乾くまで1日以上養生します。

※かくし釘は、φ1.0mm程度のものを使用し、かくし釘を強くたたきすぎないでください。直径の太いものや強くたたきすぎると、部材が割れるおそれがあります。



■取付け順序

A壁面への固定

【ウォールキャビネット】

●水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら、躯体取付けねじφ3.8×65で壁面（棧木）に固定してください。

▲警告

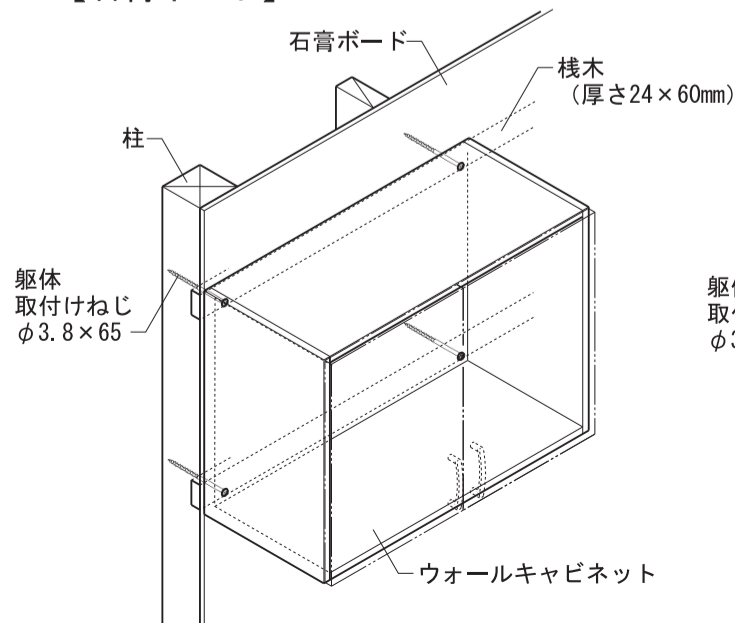
- 必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×65を指定の本数使用してください。
- 必ず棧木の中央又は厚さ18以上の合板に固定してください。

▲注意

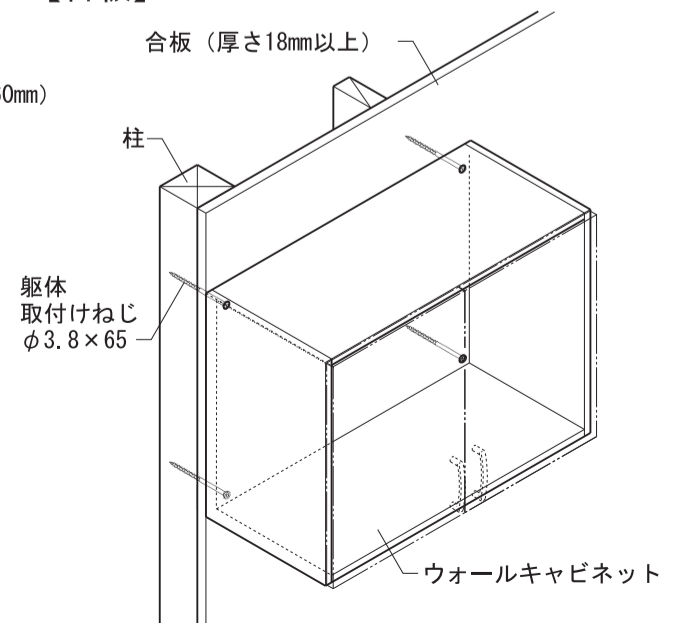
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してく

■躯体別取付け方法

【石膏ボード】



【合板】



【ベースキャビネット・トールキャビネット】

- 水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら、躯体取付けねじφ3.8×65で壁面（桧木）に固定してください。

※キャビネットを土間に直置きする場合は、パッキンなどで必ず防水処理をしてください。



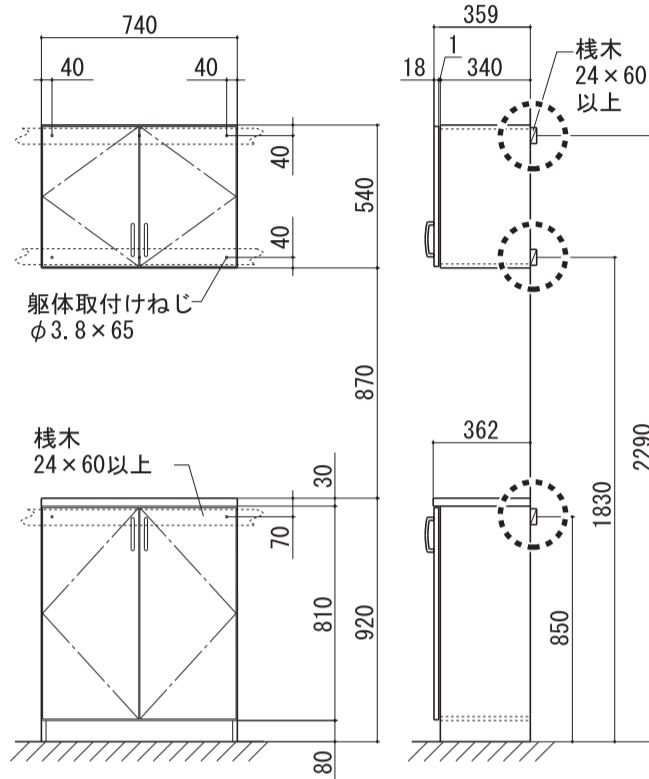
▲警告

- 必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×65を指定の本数使用してください。
- 必ず桧木の中央又は厚さ18以上の合板に固定してください。

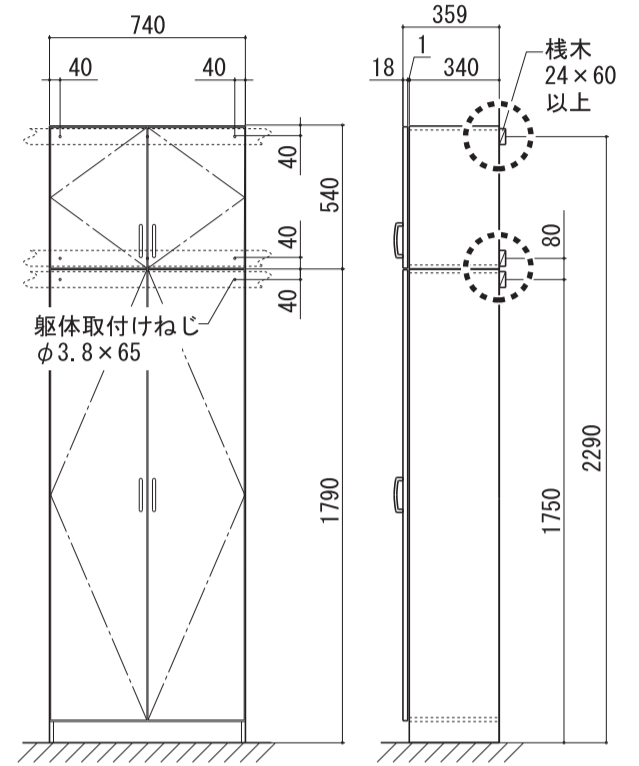
▲注意

- ウォールキャビネット以外は、壁面に吊下げて設置したり、上がり框に一部のせた形で設置しないでください。キャビネットの転倒・落下の原因となります。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してください。

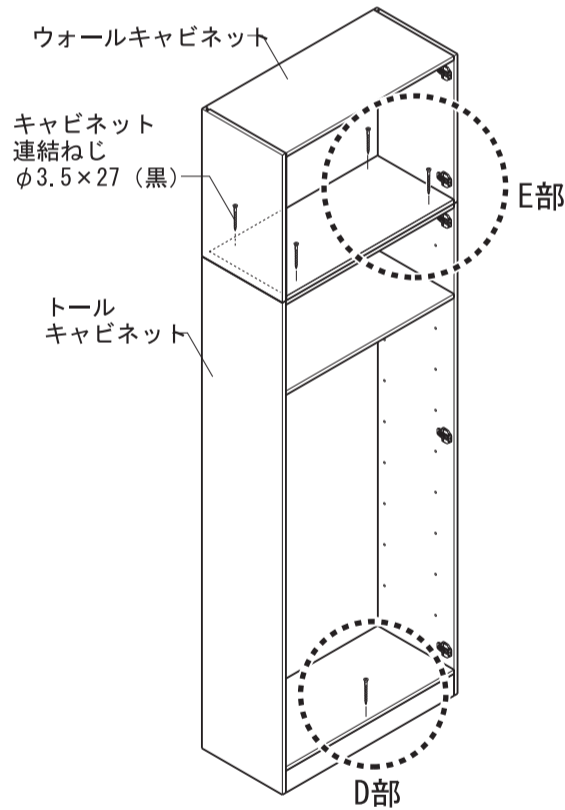
■ウォール+ベースキャビネット



■ウォール+トールキャビネット



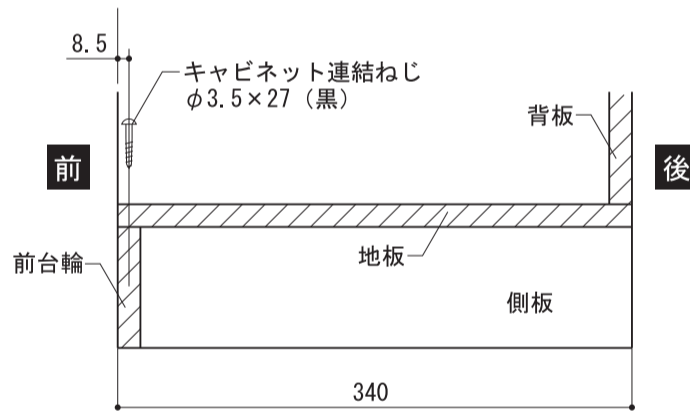
Sキャビネットの連結



【前台輪+各キャビネット連結】

- キャビネットの内側から前台輪にキャビネット連結ねじφ3.5×27（黒）で連結します。

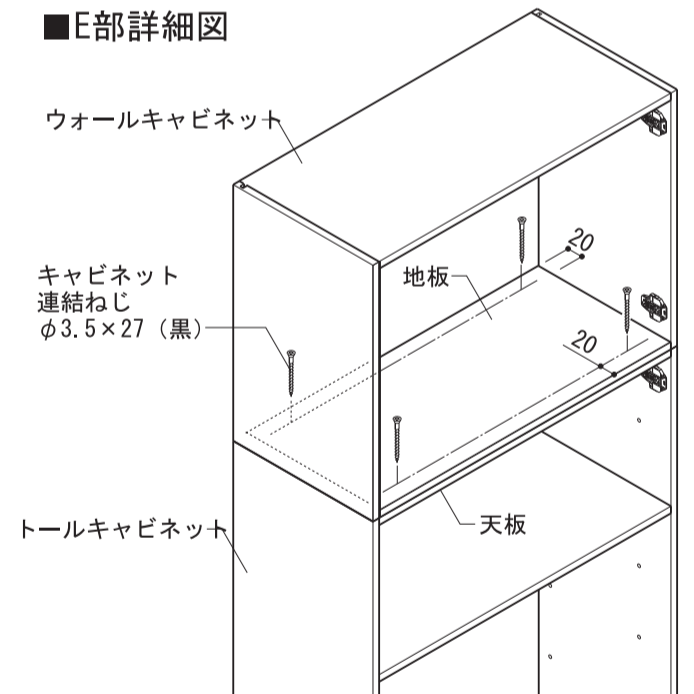
■D部詳細図



【ウォールキャビネット+トールキャビネット連結】

- ウォールキャビネットの地板からトールキャビネットの天板へ（上から下へ）キャビネット連結ねじφ

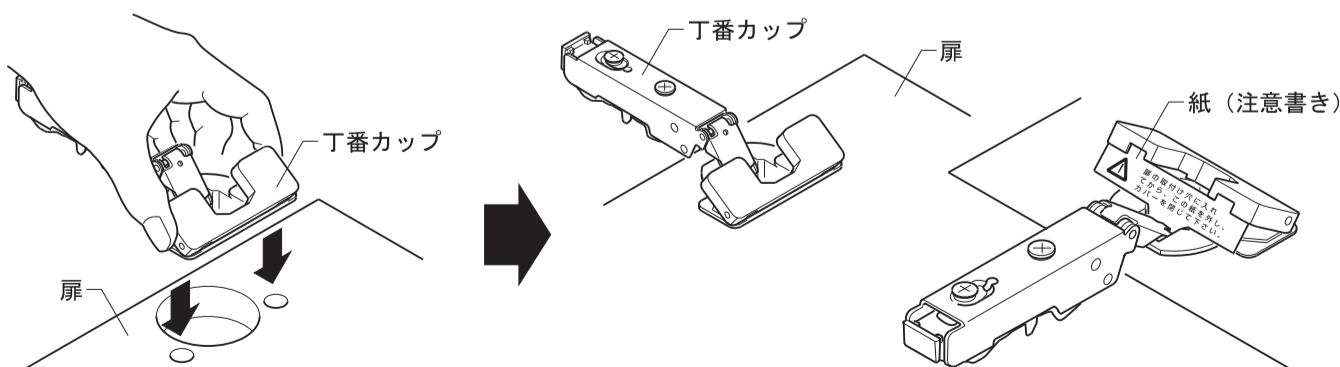
■E部詳細図



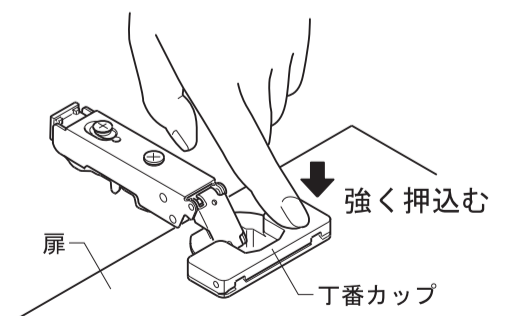
D扉の取付け

1) 丁番カップの取付け

- ①扉の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んだ後、丁番カップに入っている紙（注意書き）を外してください。



- ②扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら、「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。

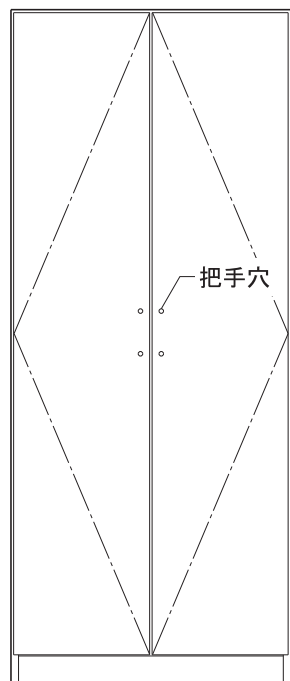


2) 扉の左右勝手の確認

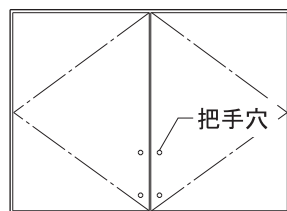
※ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手穴が上になります。

※トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。

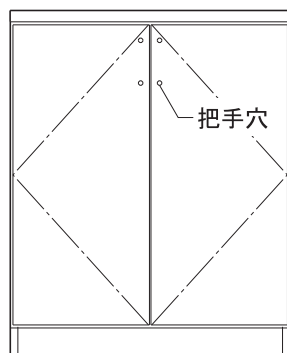
■トールキャビネット



■ウォールキャビネット

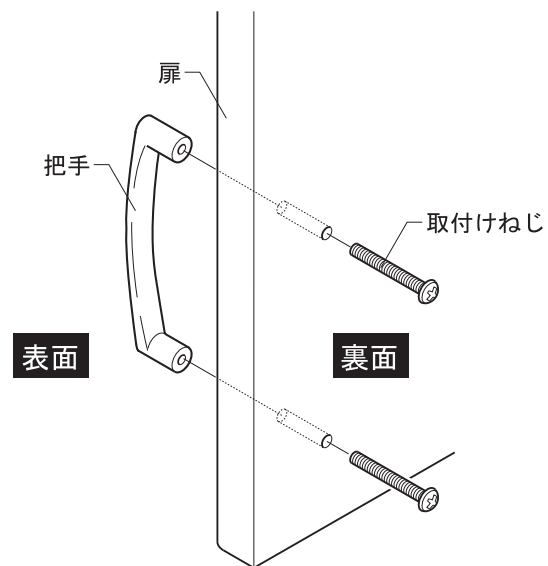


■トールキャビネット



3) 把手の取付け

※把手セットはキャビネットに同梱されています。

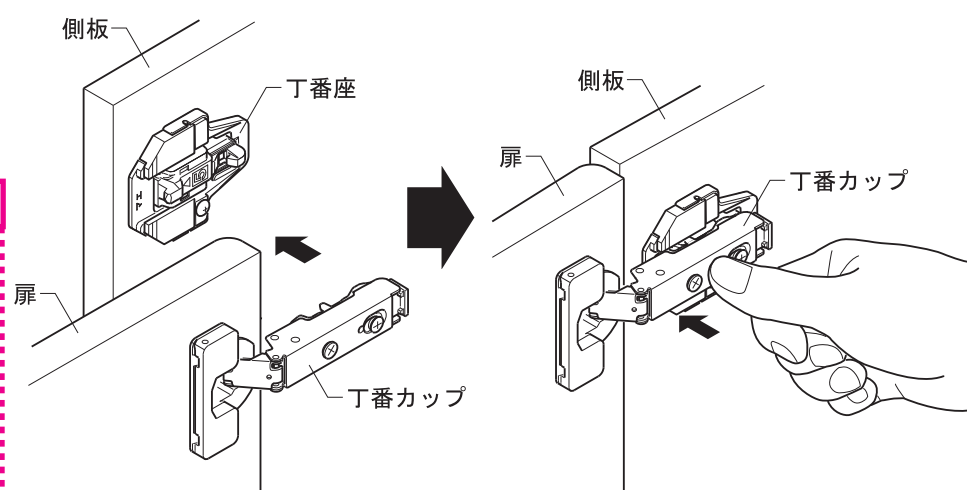


4) 扉の取付け方

※扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付いているか必ず確認してください。

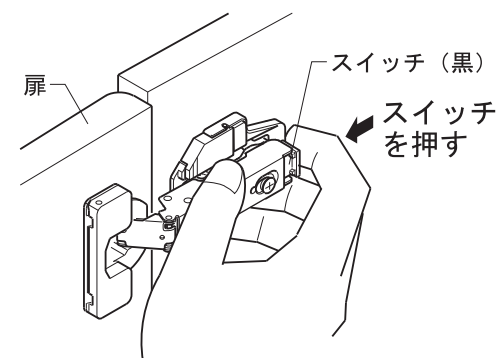
▲注意

●扉をキャビネットに取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。



5) 扉の取外し方

●扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



■扉の調整

前後調整	左右調整	上下調整
調整範囲 (3mm/前方2mm、後方1mm)	調整範囲 (±2mm)	調整範囲 (±1.5mm)